

～伝建協 住民プログラムを終えて～

【事例発表】

「小浜西組」の茶屋町地区は、三味線などの稽古場があり、情緒ある町並みを作り出している。また、伝建地区付近には駐車場や公衆トイレ、飲食店、民宿、などの整備が進んでいる。湯浅も来訪者の受け入れ態勢を整える上で、参考になることが多いと感じた。（半邊副会長）

【現地視察～熊川宿～】

町並みの保存修理・修景事業は、選定から年数が経っていることもありとても進んでいた。

地元小学生が授業の一環として、「町並み説明」や地元新聞社と連携し「号外」を発行することで、伝建地区の知識を深めていた。また、地区全体で行う「行事」や「祭り」を通して、郷土愛を育ませていることに感銘した。（木下会長）

【意見交換会】

～歴史資源や自然環境を活かしたまちづくりについて～

全国共通の問題点として挙げられていたのが、「空き家」「高齢化」対策で、解決策を模索している地区がほとんどでした。その中で、大分県日田市豆田町は、住民の生活環境を維持しながらも、伝建地区を活用した集客を成功させ、「空き家」がほとんどないとのこと。湯浅にも取り入れてみる価値はあると感じた。（木下会長）

～公開施設の活用について～

全国でも指定管理制度により伝統的な建物が宿泊所や物産販売所として運営され、各種イベントの開催の場としても活用されているようである。（半邊副会長）

【現地視察～小浜西組～】

茶屋町の地区は町家がよく保存され、カフェなどの新たな活用に取り組んでいたが、建物の塗装や建具の材質など修理・修景方法の一部に疑問を感じるところがあり、改めて湯浅の町並み保存の取り組みは、統一して行われていることに気づかされた。（木下会長）

【住民プログラムに参加して】

熊川宿は世代交代がうまくいっており、次世代を担う子ども達の郷土愛が強いことを感じた。湯浅でも地元の子供たちに歴史・文化を学んでもらい、湯浅に生まれたことを誇れるようになってほしいと思った。（木下会長）

全国各地の伝建地区住民との交流を通して、今後の伝建地区の課題や期待を学ぶことができた。このような機会を通して他地区との交流を広げたい。（半邊副会長）



【熊川宿 現地視察】



【小浜西組 現地視察】

まちなみ瓦版

■平成26年6月2日

■第22号

■発行：湯浅伝建地区保存協議会

■発行責任者：木下 智之

まちの話題 行灯アート展で“おもてなし”

4月25日（金）～29日（火）まで開催された『第8回ゆあさ行灯アート展』においてさまざまな“おもてなし”が行われました。『湯浅まちなみ交流館』では、『北浜町街づくり委員会』が“ぜんざい”などの販売を行い、連日大盛況でした。

『太田久助吟製』では、“甘酒”が振舞われ、醸造の町ならではの来訪者も喜びの表情を浮かべていました。また、26日（土）限定で『北中町区』が“ポップコーン”を子ども向けに振舞い、大好評でした。このような住民の取り組みが増えていけば、町の活性化につながると思います。



活動報告 伝建協住民プログラムin福井県

5月22日（木）～24日（土）に「平成26年度 全国伝統的建造物群保存地区協議会総会・研修会・住民プログラム」が福井県で開催されました。

福井県には、「若狭町熊川宿」と「小浜市小浜西組」の伝建地区があります。

熊川宿は、鯖街道が通る宿場町として栄えた町で、地区内には江戸時代から近代までの町家や土蔵のほか、樹木や川などの環境物件や社寺も多く遺されています。

小浜西組は、商家町と茶屋町、門前町、山麓の社寺で構成され、中世以降の地割がよく遺されており、日本海沿いに位置します。



【熊川宿】

	熊川宿	小浜西組	湯浅 [参考]
選定年月日	平成8年7月9日	平成20年6月9日	平成18年12月19日
面積	約10.8ha	約19.1ha	約6.3ha
種別	宿場町	商家町、茶屋町	醸造町
伝統的建造物	214棟	265棟	184棟

保存協議会からは、木下会長と半邊副会長が住民プログラムである「事例発表」や「意見交換会」、「現地視察」などに参加しました。

また、行政からも伝建担当者2名が「総会」や「職員研修会」、「近畿ブロック会議」、「現地視察」に参加しました。

当日の様子と研修レポートの一部を第4ページ目で紹介します。



【小浜西組】

湯浅伝建地区保存協議会

まちなみ瓦版に皆様のご要望などを掲載していきたいと思っております。ご意見・ご要望などございましたら、保存協議会委員まで連絡をお願いします。

編集委員

楠山 吉雄
半邊 宗五
妻木 禎子
道津 節子
齋藤 春太郎

湯浅伝建地区保存協議会総会を開催

日 時：平成26年5月14日（水）午後7時30分～午後9時00分
場 所：北の町老人憩の家1階
出席者：会長、副会長3名、委員17名、委任状提出委員7名、事務局3名
【議 題】

1. 平成25年度 事業報告及び収支決算・監査報告について
事務局より昨年度行われた『保存協議会活動会計』及び『甚風呂スタッフ雇用事業（町委託事業）特別会計』の報告があり、監事である神谷・楠山委員によって会計監査が行われ、事業費の収支が良好に執行されていたとの報告がありました。収支決算書は次のとおりです。

【平成25年度 保存協議会活動費 収支決算書】

1. 収入 (単位:円)

項 目	予算額(A)	決算額(B)	比較(B－A)	備 考
繰越金	440,620	440,620	0	前年度繰越金
助成金	100,000	100,000	0	町助成金
諸収入	459,380	569,677	110,297	豆わらじ売上げ、預金利息等
計	1,000,000	1,110,297	110,297	

2. 支出 (単位:円)

項 目	予算額(A)	決算額(B)	比較(A－B)	備 考
事業費	640,000	249,324	390,676	視察研修、HP 運営費、豆わらじ材料費等
会議費	30,000	23,040	6,960	保存協議会会議お茶代
印刷費	10,000	7,059	2,941	まちなみ瓦版用紙代金
交際費	20,000	26,656	△ 6,656	視察研修交流会費
積立金	300,000	300,000	0	伝建地区まちづくり基金
計	1,000,000	606,079	393,921	

1,110,297(円) － 606,079(円) = 504,218(円) ← 平成26年度に繰り越すものとする。
〔収入済額〕 〔支出済額〕 〔差引〕

【歴史のまちづくり拠点施設レベルアップ事業 特別会計 収支決算書】

1. 収入 (単位:円)

項 目	予算額(A)	決算額(B)	比較(B－A)	備 考
繰越金	0	0	0	
受託料	2,200,000	2,200,000	0	甚風呂管理運営委託事業受託金
諸収入	0	0	0	
計	2,200,000	2,200,000	0	

2. 支出 (単位:円)

項 目	予算額(A)	決算額(B)	比較(A－B)	備 考
賃金	2,100,000	2,079,601	20,399	甚風呂スタッフ賃金
諸経費	100,000	120,399	△ 20,399	備品購入費、需用費、役務費等
計	2,200,000	2,200,000	0	

2,200,000(円) － 2,200,000(円) = 0(円)
〔収入済額〕 〔支出済額〕 〔差引＝繰越金〕

2. 平成26年度 事業実施計画及び収支予算について
今年度の事業計画及び収支予算が提案されました。事業計画では甚風呂の指定管理業務が新たに加わりました。また、収支予算案では昨年度に引き続き“伝建地区まちづくり基金”として、40万円を積み立てることが提案され、事業計画とともに承認されました。

【事業計画】

- ★保存地区の町並み保存に関する協議
- ★他地区の保存会など町並み保存に関わる団体等との交流
- ★町並み保存とまちづくりを推進するための先進地視察等研修
- ★甚風呂指定管理業務[新事業]
- ★湯浅伝建地区保存協議会ホームページ等の運営
- ★その他、湯浅町の歴史を活かしたまちづくりに寄与する事業

【平成26年度 収支予算書（案）】

1. 収入 (単位:円)

項 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(A－B)	備 考
繰越金	504,218	440,620	63,598	前年度繰越金
助成金	100,000	100,000	0	町助成金
諸収入	545,782	459,380	86,402	豆わらじ売上げ、預金利息等
計	1,150,000	1,000,000	150,000	

2. 支出 (単位:円)

項 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(A－B)	備 考
事業費	690,000	640,000	50,000	視察研修、豆わらじ材料費、HP運営費等
会議費	30,000	30,000	0	保存協議会会議お茶代等
印刷費	10,000	10,000	0	まちなみ瓦版用紙代金等
交際費	20,000	20,000	0	他地区保存会との交流等
積立金	400,000	300,000	100,000	伝建地区まちづくり基金
計	1,150,000	1,000,000	150,000	

【甚風呂指定管理業務特別会計 収支予算書（案）】

1. 収入 (単位:円)

項 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(A－B)	備 考
繰越金	0	0	0	
委託費	2,590,000	0	2,590,000	施設管理運営費
諸収入	60,000	0	60,000	土産物開発品販売益
計	2,650,000	0	2,650,000	

2. 支出 (単位:円)

項 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(A－B)	備 考
賃金	2,100,000	0	2,100,000	甚風呂スタッフ賃金
諸経費	490,000	0	490,000	備品購入費、需用費、役務費等
返還金	60,000	0	60,000	販売益等町返還金
計	2,650,000	0	2,650,000	